

IoT機器・システムのソフトウェア開発 における課題への気づき

～つながる世界における安全・安心の実現に向けて

2018. 10.11 (木)

開場 13:00

開演 13:30

近年、IoT機器・システム・サービスは、様々な分野において多様な環境で幅広い層に利用されています。また、接続されるIoT機器の種類や接続数などが日々刻々と変化することもIoTシステム・サービスならではの特徴です。そのため、IoT機器・システム・サービスのセキュリティや長期利用への配慮など従来の開発に加えて意識しておかなければならないことが多数あります。本セミナーでは、グループ討議を通して、受講者皆様のお互いの課題を共有し、講演内容から、その対策への“気づき”を提供します。

主催：組込みソフトウェア技術コンソーシアム（HEPT）

開催日時：2018年10月11日（木）13:30～16:30

開催場所：静岡大学 浜松キャンパス 情報学部2号館 2階 情22教室 （静岡県浜松市中区城北3-5-1）

WEB：<https://hept.inf.shizuoka.ac.jp/sig/>（※お申込みはWebからお願いします）

Program

13:00	受付
13:30～ 13:40	オープニング IPAの取組みの紹介と本日のセミナーの流れを説明します <講師> IPA 社会基盤センター 調査役 宮原真次 氏
13:40～ 14:00	グループ討議 開発などで課題と思われる事についてディスカッションします。
14:00～ 14:50	IoT機器・システムのソフトウェア開発の課題に立ち向かうために 本講演では、IoT機器・システム開発における安全・安心の課題を整理し、そのソフトウェアの開発時に押さえておきたい基本的な概念についてお話します。また、その考え方を実現するために必要な機能と品質確保の考慮ポイントについて解説します。 <講師> IPA 社会基盤センター 調査役 宮原真次 氏
14:50～ 15:00	休憩
15:00～ 15:30	セーフティとセキュリティのためのリスク分析と見える化の手法 IoT機器・システムの開発では、セーフティとセキュリティに開発初期から対応しておくことが重要です。そのためにはリスクを分析し、関係者間で課題と対策を共有する必要があります。本講演では、リスク分析と共有のための見える化の基本的な考え方と技術について紹介します。 <講師> IPA 社会基盤センター 研究員 西尾桂子 氏
15:30～ 16:00	グループ討議 本日の講演内容から得た気づきなど最初のグループで討議し、まとめと発表を行います。
16:00～ 16:30	Q&A 本日の講演を通して、全体の質疑応答を行います。